

KEIZAIREN

情報 4

2022.04 NO.1291

安全・安心・新鮮でおいしい静岡県産の農畜産物をお届けします。

令和4年度 事業方針・事業計画

Main topics

令和4年度 事業方針・事業計画 ……01

topics&news

栽培技術向上のために

第42回静岡県中晩生柑橘品評会 ……03

学生に県産米をPR

静岡大学で県産米を配布 ……03

県産トルコギキョウをPR

大田市場でフェア開催 ……04

花きの消費拡大をPR

フラワーバレンタインのアレンジを展示 ……04

お知らせ

静岡県農業振興基金協会からご案内 ……05

建設部からのお知らせ ……06

あぐりんく静岡からのお知らせ ……06

最新研究紹介

農林技術研究所だより

多様なニーズに対応する茶新品種の開発…07

お知らせ

テレビ番組「しずおかごはんが食べたい!」のご紹介 …09

JAタウン しずおか「手しお屋」のオススメ商品 …09

退職者の紹介

令和4年3月31日付定年退職者のご紹介…10



▲第42回静岡県中晩生柑橘品評会



▲東京・大田市場でトルコギキョウフェアを開催



令和4年度 事業方針・事業計画

1 令和4年度事業方針

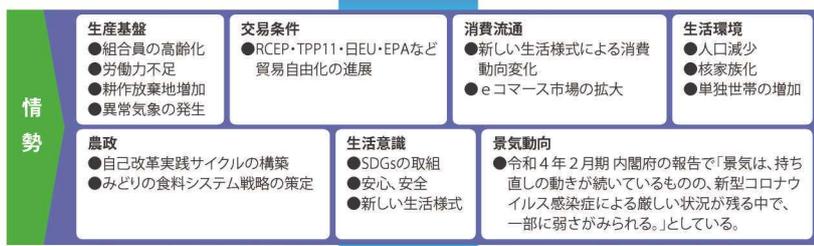
令和4年度は「JA静岡3か年計画」新時代への挑戦、農業の飛躍・経営の革新（令和2年度～4年度）の最終年度となります。基本目標として「農業の飛躍的な拡大」「経営環境に対応した事業・経営の転換」「活力ある職場づくり」の3点を掲げ、生産振興と機能集中などによるコスト削減に取り組み、農家所得の向上と組合員や利用者の満足につながる事業展開をJAと一体となつて進め、令和4年度事業計画の達成に努めてまいります。

2 令和4年度事業計画

- JA静岡経済連第73年度（令和4年度）事業計画は次のとおりです。
1. 生産拡大に向けた仕組み作りや体制の整備
 - ① 果樹経営支援対策事業を活用し、園地整備及び優良品種への改植により、連年安定生産を確立し、出荷量の確保と共販率の向上に取り組みます。
 - ② 選果・荷造り作業受託による生産拡大の支援に取り組みます。
 - ③ 粉引き0%取引の継続実施及び統一に取り組むとともに、荒茶取引開始時間改善の検討をします。
 - ④ 地域の農業振興計画などJAの戦略に基づく営農技術支援に取り組み

表1. 事業計画のあらまし

第73年度（令和4年度）部門別重点戦略【営農】	
みかん園芸部門	<ul style="list-style-type: none"> ◆果樹経営支援対策事業を活用し、園地整備および優良品種への改植を推進 ◆温暖化に適応した栽培技術の普及と次期有望品種の導入に向けた現地試験 ◆営業力強化による販路拡大と直接販売の取扱量拡大 ◆選果・荷造り作業受託による生産拡大の支援 ◆段ボールなど低コスト仕様への切替提案と導入 ◆燃油価格高騰対策資材の普及拡大
茶部門	<ul style="list-style-type: none"> ◆みどりの食料システム戦略に基づく有機栽培茶の生産拡大 ◆国内外での消費拡大に向けた取組とJA静岡茶の商品開発・販路拡大 ◆粉引き0%取引の継続実施および統一と荒茶取引開始時間改善に向けた検討
生産資材部門	<ul style="list-style-type: none"> ◆JAの戦略に基づく営農技術の支援 ◆担い手との関係強化のため、研修会などを通じ出向く体制を整備 ◆化成肥料の銘柄集約と工場直送を基準とした価格体系の導入 ◆静岡提案型式農機の提案と共同購入など仕入れ強化による価格引き下げと普及促進 ◆ICT搭載高性能機械による労力低減や省力化など新技術普及のため専門知識を持った人材の育成
営業部門	<ul style="list-style-type: none"> ◆JAタウンの魅力あるサイト作りとショップ認知度向上によるリピーターの獲得 ◆本県農畜産物のPRの場として外食販売事業の運営 ◆国、県、全農、JAなどと連携し、既存輸出先への取扱拡大 ◆農産物の買取による直接販売の拡大 ◆ファーマーズマーケットへの企画提案による営業支援



第73年度（令和4年度）部門別重点戦略【生活】	
くらし支援部門	<ul style="list-style-type: none"> ◆インターネットを活用した事業やeコマースの取組強化 ◆地域活性化、高齢者の買い物支援を目的とした、安心安全な食宅配事業の拡大 ◆県下JA葬祭事業の発展、収益の維持・拡大のため事業基盤を強化 ◆石油、LPガスの既存取扱いエネルギーに加えて、新たに電力小売事業（JAでんき）を検討し、組合員サービスを充実させたホームエネルギー事業の展開
食糧部門	<ul style="list-style-type: none"> ◆生産者所得向上のため、多収穫品種などの買取集荷の強化 ◆「静岡そだち」コシヒカリなど、集荷・精米販売までの本会一貫体制の強みを生かした優位販売 ◆「味くらべ便（頒布会）」や「メッセージライス」の販売強化
畜産部門	<ul style="list-style-type: none"> ◆農業経営事業を活用し肉牛委託肥育事業の継続と新規委託農場の推進 ◆受精卵移植事業により大型酪農生産者などの肉用子牛生産を促進し、ヌレ子買取り・哺育・育成を行い肉用牛の生産基盤を維持 ◆既存ブランドの利用及び品質向上に伴う安定集荷と販売強化 ◆静岡県統一ブランドの認知度向上とブランド牛の輸出拡大
建設部門	<ul style="list-style-type: none"> ◆相続相談や土地活用相談をJAと連携して行い、土地活用による住宅開発物件の取扱を拡大 ◆JA支店や営農施設などの再編整備計画において、コロナ対策を提案

⑤ 農業経営事業を活用し肉牛委託肥育事業の継続と新規委託農場の推進、肥育頭数の確保を行います。廃業者、廃業予定者の委託経営化をみます。

や新規就農希望者への継承を支援します。

1. 販売力強化に向けた効果的な取組みと事業提案・支援
 - ① 営業力強化による販路拡大と直接販売の取扱量拡大に取り組みます。
 - ② 販売先との連携による生産指導を強化し、マッチング販売に取り組みむとともに、みどりの食料システム戦略に基づく有機栽培茶の生産拡大に向け、県及び関係団体と連携します。
 - ③ JAタウン「しずおか『手しお屋』」(eコマースビジネス)は、魅力あるサイト作りとショップの認知度

を向上させる施策を強化することで、リピーターの獲得に取り組みます。

2. 低価格・省力化資材の提供や仕組の研究によるコスト低減
 - ① 包装資材の仕様見直しや標準規格段ボールの設定等によるコスト低減の提案、導入に取り組みます。
 - ④ ファーマーズマーケットへの企画提案による営業支援を行います。
 - ⑤ 「静岡そだち（静岡コシ玄米食味83点以上）」等、集荷・精米販売までの本会一貫体制の強みを活かす、パールライスの優位販売に取り組みます。

表2. JA静岡経済連3か年計画におけるSDGsとの関連性

基本目標	戦略	主な取り組み事項	対象となるSDGs目標
基本目標1 農業の持続的な拡大	戦略1 飛躍的な生産拡大に資する農業振興を行います	生産部会強化や農業法人等大口農家の支援	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
		柑橘優良品種への改種、園地整備等による安定生産	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
		パッケージセンター設置など選果・荷造り作業受託による生産支援	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
		糸品種、生産体系（計画生産）を考慮した生産誘導	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
		水稲多収品種の契約栽培	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
		肉牛肥育・肉豚肥育事業の維持拡大	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
		eコマースビジネスの展開等による県内農産物の拡販	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
		ハートナー市場連携による契約取引の拡大	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
		関係機関と連携した静岡県の国内外消費拡大	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
		買取米、非共計米を基軸としたJAの米集荷・販売体制の構築	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
基本目標2 経営環境に 対応した事業 の転換・経費の 削減	戦略2 収支均衡に向けた経済事業改革を行います	ファーマーズマーケットでの精肉販売の拡大と直販事業の強化	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
		全農や近隣県と連携した輸出事業の展開	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
		包装資材の見直しや生産性向上によるトータルコストの低減	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
		物流合理化と新たな拠点型事業による業務の効率化	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
		県域土壌分析センター設置による肥培管理の支援とコスト削減	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
		農業ICT関連資材の提案・普及	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
		JA推奨型型農機の提案・普及促進	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
		受播即移植技術を活用し雇員確保の確保と、肉牛生産基盤の保持により、静岡型生産販売連携システムの推進	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
		子育て世代や高齢者の買い物支援として、食料宅配の普及・拡大	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
		葬祭事業と関連他部門が連携した終活セミナー等による生涯観感化	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
基本目標3 健全経営の 強化を図ります	戦略3 広域合併や事業連携等のJA経済事業支援	ビジネスモデルを明確にしたSS事業の最適化	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
		安全化システムの普及拡大による保安の確保と、燃料転換（給油設備・燃費燃料のLPガス化）促進	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
		ISO・HACCPを継続し、精米の品質確保により、安心・安全等、信頼性を向上させる	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
		組合員の資産相談、相続相談による土地有効活用等の支援	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
		広域合併や事業連携等のJA経済事業支援	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
		健全経営の強化を行います	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
		健全経営と子会社管理の強化	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
		環境に配慮した事業展開と地域・組合員の暮らしを支えるための事業提案	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
		環境に配慮した事業展開と地域・組合員の暮らしを支えるための事業提案	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
		環境に配慮した事業展開と地域・組合員の暮らしを支えるための事業提案	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17

関連が定めたSDGsの17目標
 1. 貧困をなくそう 2. 飢餓をゼロに 3. すべての人に健康と福祉を 4. 質の高い教育をみんなに 5. ジェンダー平等を実現しよう
 6. 安全な水とトイレを世界中に 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8. 働きがいも経済成長も 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
 10.人や国の不平等をなくそう 11. 住み続けられるまちづくりを 12. つくる責任 13. 気候変動に具体的な対策を
 14. 海の豊かさを守ろう 15. 陸の豊かさを守ろう 16. 平和と公正をすべての人に 17. パートナリシップで目標を達成しよう

表3. 本会における「みどりの食料システム戦略」との関連性が想定される取組

<p>温室効果ガス削減</p> <p>【総合エネルギー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆電力小売事業の検討 <p>【畜産】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆牛からのメタンガス排出の削減 <p>【農業機械】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ICT搭載高性能機械による労力低減・省力化 <p>【営農資材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆生分解性資材やバイオマスプラスチックを使用した資材の普及拡大 <p>【建設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆太陽光発電の設置や照明器具のLED化による省電力
<p>環境保全</p> <p>【生産振興開発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆IPM研修会の開催など営農技術支援への取組 <p>【肥料農業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆天敵農薬の普及によるトータルコスト削減 ◆農業用ドローンを活用した農薬散布による作業効率化 ◆一発施肥などの省力施肥技術の普及、未利用資源の有効活用による施肥量低減 ◆本会主導の土壌分析体制による土づくり支援の確立と効率的な配合肥料施肥 <p>【茶業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆県と連携し、有機栽培の生産技術向上と安定販売に向けた事業への取組
<p>食品産業</p> <p>【青果類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆レタスなど出荷予測システムに基づく需給バランスの調整や青果物の規格外品の取扱推進 <p>【柑橘】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆人工知能(AI)を搭載した選果システムの推進 ◆人を感知して追従する運搬機やリモコンで操作する草刈機の普及 <p>【営農資材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆農業ICT関連資材の提案

②化成肥料の銘柄集約と工場直送を基準とした価格体系の導入で、新たなメリットを創出します。
 ③燃油価格高騰対策資材の普及・拡大に取り組みます。
 ④ICT搭載高性能機械による労力低減・省力化等の新技術普及のため、商品紹介を行うと同時に専門知識を習得できるように人材育成に取り組みます。
 なお、事業計画のあらましについては表1のとおりです。

III JA静岡3か年計画におけるSDGsとの関連性

SDGs（持続可能な開発目標）では、地球規模での環境・社会問題が深刻化する中で、持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指すものです。
 本会は、「JA静岡経済連3か年計画」の3つの基本目標についてSDGsとの関連性を整理しました。主

IV みどりの食料システム戦略への取組

な取組事項については表2のとおりです。
 農林水産省が策定した「みどりの食料システム戦略」は、持続可能な食料システム構築に向け、中長期的な観点から、生産・加工・流通など各段階での取組とカーボンニュートラルを実現するものです。ここでは、「みどりの食料システム戦略」の目指す姿と取組方向について、本会事業への影響が大きい項目をご紹介します。

1. 温室効果ガス削減
2. 2050年までに、農林水産業のCO₂ゼロエミッション化の実現を目指す
3. 2040年までに、農林業機械・漁船の電化・水素化などに関する技

術の確立を目指す
 ③園芸施設
 2050年までに、化石燃料を使用しない施設への完全移行を目指す
 2. 環境保全
 ①化学農薬
 2040年までに、ネオニコチノイド系農薬を含む従来の殺虫剤を使用しなくて済むような新規農薬などの開発により、2050年までに、化学農薬使用量（リスク換算）の50%低減を目指す
 ②化学肥料
 2050年までに、輸入原料や化石燃料を原料とした化学肥料の使用量の30%低減を目指す
 ③有機農業
 2040年までに、主要な品目について農業者の多くが取り組むことができるよう、次世代有機農業に関する技術を確立する。これにより、2050年までに、オーガニック市場を拡大しつつ、耕地面積に占める

有機農業の取組面積の割合を25%に拡大することを目指す
 3. 食品産業
 ①食品ロス
 2030年度までに、事業系食品ロスを2000年度比で半減させることを目指す。2050年までに、AIによる需要予測や新たな包装資材の開発などの技術の進展により、事業系食品ロスの最小化を図る
 ②食品産業
 2030年までに、流通の合理化を進め、飲食料品卸売業における売上高に占める経費の割合を10%に削減することを目指す。2050年までにAI、ロボティクスなどの新たな技術を活用して流通のあらゆる現場において、省力化・自動化を進め、さらなる縮減を目指す。
 なお、本会における「みどりの食料システム戦略」との関連性が想定される取組は表3のとおりです。

栽培技術向上のために
第42回静岡県中晩生
柑橘品評会

2月16日、静岡県柑橘振興基金協会と柑橘果樹課は、県農業会館で「第42回静岡県中晩生柑橘品評会」を開きました。

「はるみ」69点、「不知火」38点、「甘夏」60点、「ポンカン」51点が出品され、農研機構や県、市場の担当者、消費者代表ら15人が形状などの外観と糖度、酸度や食味を審査しました。各品種の糖度、酸度の結果は表のとおりです。なお、ポンカンの審査は1月下旬に行いました。（本誌3月号に掲載）

審査を務めた農林技術研究所果樹研究センターの瀧義明センター長は「本年度は雨の多い時期があり、病害虫などが心配されたが、生産者の管理作業で高品質な果実が出品された」と講評しました。

優秀賞受賞者は次のとおり（敬称略）。



第42回 静岡県中晩生柑橘品評会優秀賞受賞者

品種	特別賞	J A名	氏名
ポンカン	農林水産省関東農政局長賞	J Aしみず	澤野 郁夫
はるみ	静岡県知事賞	J Aしみず	田島 久資
不知火	静岡県経済産業部長賞	J Aしみず	渡辺 桂司
甘夏	日園連会長賞	J A静岡市	佐藤 廣志

果実分析（糖度・酸度）の結果

品種		はるみ	不知火	甘夏	ポンカン
糖度	最高	14.4	17.1	11.5	14.1
	平均	12.3	13.3	10.4	12.2
酸度	平均	0.92	1.43	1.61	0.77

（単位：度）

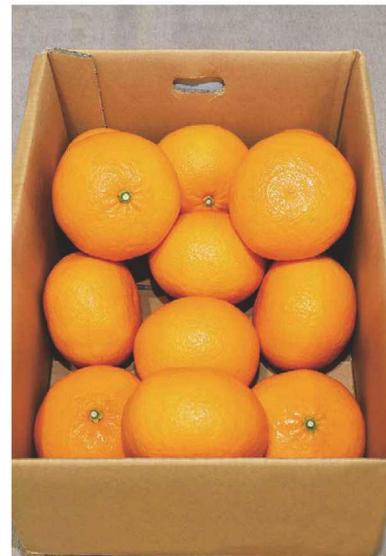
優秀賞を受賞した品種



▲はるみ（J Aしみず 田島 久資さん）



▲不知火（J Aしみず 渡辺 桂司さん）



▲甘夏（J A静岡市 佐藤 廣志さん）



食糧部は、1月26日から28日の期間、静岡市駿河区の静岡大学の生協が運営する食堂3か所で、県産米の認知度を高めるため、学生らに県産米「きぬむすめ」1,000袋（1袋1合入り）とチラシを配りました。食糧部は「若年層においておいしい県産米を知ってもらい、消費拡大につなげたい。学生たちのSNSでの発信に期待したい」と話しました。また、今年6月から同大学食堂へ県産米の供給を始める予定です。

学生に県産米をPR
静岡大学で県産米を配布

県産トルコギキョウをPR 大田市場でフェア開催

野菜花卉課と東京事務所は、3月7日から11日の期間、東京・大田市場で県産トルコギキョウフェアを開催しました。本会・パートナー市場である大田市場で、県内一体となったフェアを通じ、これから需要期を迎えるトルコギキョウをPRすることが目的で、(株)大田花き、(株)フラワースタジオジャパン、(株)大森花卉の協力で開催しました。

フェアに先立ち東京事務所の齋藤公彦次長が「本県は冬場の高日照と温暖な気候に恵まれ、12月から5月にかけて品質にこだわったトルコギキョウを生産しています。今年は燃

油高騰の影響で生産者は大変苦労しております。お客様に安心してご利用いただけるよう出荷して



▲展示されたトルコギキョウ

まいります。これから出荷最盛期を迎える本県トルコギキョウをよろしくお願いたします」と挨拶。県内各産地で出荷している品種を市場内の通路で展示、仲卸フェアとして各産地おすすめの品種を販売しました。



▲東京事務所の齋藤次長が挨拶



▲大田市場内の通路で展示

花きの消費拡大をPR

フラワーバレンタインのアレンジを展示

静岡県花卉園芸組合連合会（事務局・野菜花卉課）は、2月7日から13日の期間、静岡市内で、県産花きを使用したアレンジメントの展示に協力しました。2月14日のフラワーバレンタインにちなみ、花きの消費拡大をPRすることが目的。

フラワーアレンジは、静岡市葵区役所、駿河区役所、清水庁舎、するが花き卸売市場、JR静岡駅地下広場「しずチカ」で展示し、カーネーションやガーベラ、ばら、トルコギキョウ、マム、コデマリ、ダリアなどを使用しました。

展示会場の一つ「しずチカ」では、展示期間中3連休もあったことから、人通りも多く、フラワーバレンタインのPRチラシや花の管理についてのリーフレットを配布し、SNS（インスタグラムとフェイスブック）の周知と県産花きのPRを行いました。



▲展示されたフラワーアレンジ



▲静岡市役所清水庁舎



▲JR静岡駅地下広場「しずチカ」

静岡県農業振興基金協会 からご案内

(公財) 静岡県農業振興基金協会は、本県の農業振興・農村活性化を図ることを目的に助成事業を実施しています。助成事業のうち一般事業は、農業者などが主体となった現場における課題解決に向けた取組に対し、必要な経費の一部（助成金限度額有）を助成しています。各事業について以下のとおりで紹介いたします。

(1) 担い手育成対策事業（助成率2分の1以内）

事業名	事業内容	事業主体
①農業者経営能力等向上事業	経営、技術向上を図る講座、研修、研究活動等の担い手育成活動	農業者等組織、JA
②担い手等広域交流促進事業	担い手組織が行う東・中・西部に渡る研究会や情報交換会	担い手組織
③生きがい農業応援事業	自給、ファーマーズマーケット出荷を目指す初心者への基礎研修	JA
④農業・農村男女共同参画	女性の社会参画を促す意識啓発や男女共同参画の活動	農業者等組織、JA

(2) 地域農業振興対策事業（助成率2分の1以内）

事業名	事業内容	事業主体
①農産物マーケティング推進事業	マーケティングとしての市場調査、新商品開発、ブランド化、販売促進、地産地消	農業者等組織、JA
②農業生産研究グループ事業	経営改善や栽培技術の現地実証、新作目の生産技術開発	農業者等組織、JA
③安全安心な生産基盤づくり事業	I PM、資源循環、GAP等取得、残留農薬分析等、安全安心な生産供給活動	農業者等組織、JA
④農作物鳥獣害対策事業	鳥獣害防止や駆除の研修会・講演会、対策技術の実証	農業者等組織、市民団体、JA
⑤農地集積、耕作放棄地活用推進事業	農地集積の合意形成や、耕作放棄地の再生を行う組織の活動	農業者等組織、市民団体、JA
⑥農業生産新技術等導入促進事業	JA等が取り組む新技術等導入促進事業 (※独自開発は助成率10/10以内も可)	農業者等組織、JA
ア 新商品開発販売研究事業	新商品開発、試験販売、新流通システムの確立研究	
イ 農業新技術開発普及事業	新しい農業生産技術を実用化する現地実証、生産技術の研究開発	
ウ 優良種苗供給事業	新品種や優良種苗の生産供給体制の整備、新品種の育成	

(3) 農村振興対策事業（助成率2分の1以内）

事業名	事業内容	事業主体
①地域特産づくり推進事業	新たな農林産物の導入、特産品開発、販売促進活動	農業者等組織
②グリーン・ツーリズム推進事業	景観、伝統文化、体験施設等を活用して取り組むグリーン・ツーリズム活動	農業者等組織
③食農教育支援事業	消費者や児童・生徒の農業体験、調理加工体験、学校との食農教育活動	農業者等組織、市民団体、JA
④朝市等推進事業	地元農産物の地域内流通、朝市等の開設及び開設翌年度の運営活動	農業者等組織

(4) 日程

各事業は4月1日から実施可能ですが、助成を活用するには申請が必要です。5月下旬の事前審査会を経て、6月末申請書の締切となっています。助成事業の申請については、静岡県農業振興基金協会事務局までお問い合わせください。

事務局

公益社団法人 静岡県農業振興基金協会

〒422-8619 静岡市駿河区曲金三丁目8番1号

電話：054-284-9545 FAX：054-284-6001 E-mail：kikin@chu.ja-shizuoka.or.jp

ホームページ：農業振興基金協会 (<http://group.ja-shizuoka.or.jp/kikin>)

建設部からのお知らせ

遠州中央農業協同組合

担当 建設部 054-284-9523



茶生産者の「いちご栽培」による複合経営

やまも製茶株式会社 いちごハウス完成報告会



▲空撮したいちごハウス

やまも製茶株式会社

〒437-0032 静岡県袋井市豊沢336番地
TEL:0538-43-7511 FAX:0538-43-7611
ホームページは (<https://yamamo-tea.jp/>)
または右の2次元バーコードからご覧ください。



令和4年2月16日 やまも製茶株式会社は最新のICTを導入したいちごハウスの完成報告会を開催し、袋井市長をはじめとした出席者に完成したハウスを披露しました。

袋井市豊沢地区でお茶の生産を行い、令和元年度から経営強化として複合経営（2以上の部門を合わせた経営。お茶といちご）に取り組む同社は、今年度の国の補助事業を活用して新たにハウス5棟（計6,018㎡）の整備を行いました。

ハウスには、生産を補助する付帯設備としてICTを駆使した最新の環境制御システムを導入し、暖房や灌水、炭酸ガス発生や天窓制御を自動で一元管理でき、いちごの収量安定と品質向上を図ります。また、2品目の生産を行う同社は、繁忙期が重なる時期に作業員が兼業しなくて済むよう担当を分け、人員配置の面でも品質管理の工夫をしています。

本会は、施設建設委任契約によって同社の委任を受け、検討案、競争見積執行、ハウス完成に至るまでの進捗管理や準備事項の助言および行政協議などについて、全農と連携した施主代行機能によりサポートしました。

同社はJA遠州中央への出荷を中心に、敷地内販売所で直販するほか、地元の法多山でのイベント販売も行っています。

【 営農ナビ 】 文字が大きく見やすくなってリニューアルしました！

あぐりんく静岡からのお知らせ

県内
JA限定

農産物安全分析センター

分析メニュー、申込書、分析フロー（手順）を掲載しています。分析の際はコチラから！

経済連肥薬通信

更新

経済連肥薬通信4月号
経済連コンサルタントによる技術情報

担い手支援 TAC

全農発行の「TAC通信」を毎週掲載しています。全国のTAC事例も随時紹介！

販売情報

東京、名古屋、大阪の青果・花卉の概況を掲載しています。

生産・事業推進に
役立つ情報が満載!!

●イントラから利用できます。

～他にも、農畜産物別の情報なども充実～

担当：生産資材部 生産振興開発課（TEL 054-284-9729）

農林技術 研究所 だより

多様なニーズに対応する 茶新品種の開発



一 はじめに

近年、煎茶などのリーフ茶需要が減少する中、新たなニーズに対応した茶生産への転換が課題となっております。そこで静岡県では、機械化などによる大規模生産が可能な平坦地において、需要が増加しているドリンク茶等の原料茶の生産を推進しています。一方、中山間地は機械化できない場所が限られ、規模拡大が容易でないため、香り緑茶などの収益性の高いお茶の生産を推進しています。

現在、静岡県における茶栽培面積の約九割を品種「やぶきた」が占めています。これは「やぶきた」が煎茶として極めて優れた特性を持つためです。一方、ドリンク茶や香り緑茶等の新たなニーズに対応するためには、「やぶきた」に勝る優れた特長を持った品種の開発・普及が必要になります。

このような背景から、茶業研究センターでは多様なニーズに対応する新品種の開発に取り組んでおり、今

回、超多収性「95-7-35」と香気が優れる「90-2-213」という二つの品種候補を開発しました。「95-7-35」、「90-2-213」は品種育成時の系統番号

二 超多収性「95-7-35」

「95-7-35」の交配親は種子親(♀)「ごこう」、花粉親(♂)「香駿」であり、早晩性は「やぶきた」より六日遅い晩生種です(図1)。



図1 95-7-35
一番茶新芽の様子

「95-7-35」の最大の特長は高い収量性であり、年間収量は「やぶきた」の二倍となります。茶期ごとの収量を「やぶきた」と比較すると、一番茶では二・二倍、二番茶では二・六倍、秋冬番茶では一・七倍といずれの茶期でも「やぶきた」を大きく上回ります(図2)。茶の収量構成要素には摘芽数と摘芽重がありますが、「95-7-35」は摘芽数が多く、定植7年目の一番茶における単位面積当たりの摘芽数は「やぶきた」の一・七倍でした。

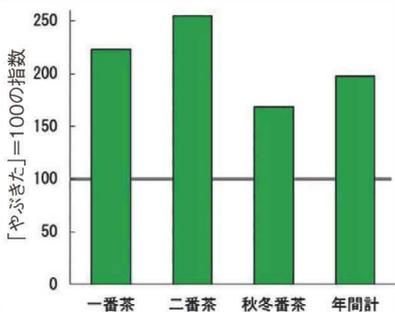


図2 95-7-35の10a当たり収量
(定植4~7年目平均)

荒茶品質は、水色が特に優れ、形状及び色沢も優れます。また香気と滋味も「やぶきた」並みに優れ、「95

7-35」の荒茶品質は総合的に「やぶきた」を上回ります。

また病害虫抵抗性は、茶の重要病害である炭疽病に対して「強」であり、安定的な生産が期待されます。その他の病害虫に対する耐性は赤焼け病「中」、クワシロカイガラムシ「中」であり、耐寒性は「中」となっています。

「95-7-35」の活用場面としてドリンク茶生産があげられます。ドリンク茶生産では、荒茶単価に見合った低コスト生産が必要となります。品種には多収であることが求められます。茶業研究センターではドリンク茶生産に関する研究を行っており、静岡県が開発した「つゆひかり」が多収で炭疽病に強い等の理由から有望であると考えられています。しかし、「95-7-35」の早晩性は「つゆひかり」(やや早生)と異なる晩生であり、この二つの品種を組み合わせることで労働分散が可能になり、ドリンク茶の生産拡大につながると考えられます。

私が紹介します!



静岡県農林技術研究所
茶業研究センター
茶生産技術科 研究員

川木 純平

三 香りが優れる「90-2-213」

「90-2-213」の交配親は種子親(♀)「するがわせ」、花粉親(♂)「ぎょうみどり」であり、早晩性は「やぶきた」と同じ中生種です(図3)。

「90-2-213」の最大の特長は優れる香気であり、煎茶では桜葉様の香気が特徴的です。また、当センターが開発した香り緑茶製法で製造することにより、軽やかな花様の香りが更に際立ちます。「香り緑茶」とは、従来の煎茶製造とは異なり、生葉を摘採後に加温・攪拌・静置することにより、茶葉の能力を引き出し、添加物なしでほんのりと甘い花様・果実様の香りを発揚させるお茶のことです。



図3 90-2-213
一番茶新芽の様子

香り緑茶は使用する品種により品質が異なり、「香駿」では甘い香りを強く発揚することが判明しており

ましたが、「90-2-213」は香り緑茶における主要な香気成分(八種)の含有量が香駿を大きく上回ります(図4)。また「香駿」が濃厚なバナナ様の香りを発揚するのに対して、「90-2-213」は軽やかな花様の香りが特徴的であり、上品な香りを発揚します。

更に「90-2-213」の香り緑茶について、世界お茶まつり二〇一九において、消費者一七名を含む計二〇七名を対象に香りに関するアンケート調査を行いました。その結果、全体の五〇%が「好き」、二十五%が「やや好き」と回答しており、高い評価が得られました。

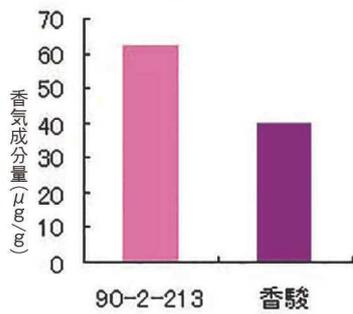


図4 90-2-213の香気成分量
(花様の香りに寄与する8成分)

病害虫抵抗性は炭疽病「やや弱」、赤焼病「やや弱」、クワシロカイガラムシ「中」であり、「やぶきた」と同等の病害虫対策が必要ですが、樹勢や耐寒性については「強」です。「90-2-213」の活用場面としては品種特有の香りを生かした

特徴ある商品への活用があげられます。静岡県内では、栽培されている品種が「やぶきた」に一極化しており、香味の画一化による需要の低下が懸念されています。茶業研究センターではこれまでに「香駿」や「しずかおり」といった香味に特徴を持つ品種を育成してきましたが、「90-2-213」はこの二つの品種にはない香味を持っています。中山間地では香り高いお茶の生産が可能であるとされていることから、香りを生かした高付加価値なお茶の生産により、収益性の向上に寄与できると考えられます。

五 今後の普及計画

「95-7-35」と「90-2-213」はまだ品種名が決まっていないため、令和4年度以降、公募によつて名称を決定します。そして品種名が決定された後に、種苗法に基づき品種登録申請を行います。苗の出荷は出願公表後より可能となり、最短で令和5年春以降の出荷を予定しております。

六 おわりに

品種導入にあたり、品種の特性をよく知り、収量性や品質などの導入目的にあった品種を選定することが

重要になります。

今回紹介した「95-7-35」と「90-2-213」はそれぞれ収量性と香りに優れた特長を持っており、その有望性を認められて選抜された品種候補になります。これらの特長は、ドリンク茶生産や香りを生かした高付加価値な商品の開発に大きく寄与できると考えられます(図5)。この二つの品種候補が広く普及し、静岡県茶業の振興に寄与することを期待しております。

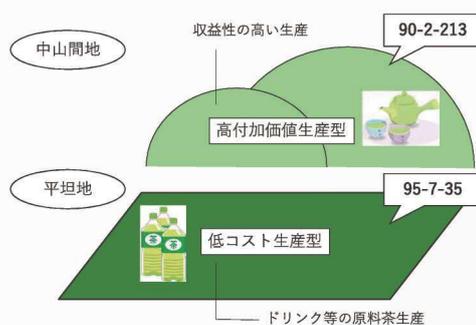


図5 新品种候補の位置付け

連絡先

菊川市倉沢一七〇六一一
静岡県農林技術研究所
茶生産技術科

ES-kenkyu@pref.shizuoka.lg.jp

「しずおかごはんが食べたい!」のご紹介

担当:食糧部 食糧課 (TEL:054-284-9737)

静岡県産米麦流通連絡協議会(事務局:食糧部)は、テレビ番組「しずおかごはんが食べたい!」(テレビ静岡)に協賛し、県産米のPRを行っています。3月19日の放送をもって予定していた全11回が終了しました。

最終となる第11回目(3月19日)の放送では、お笑い芸人のフォーリンラブ・バービーさんが、掛川市と菊川市から「掛川こしひかり」を紹介しました。「掛川こしひかり」は強い粘りと噛みしめるほどに広がるうま味と甘みが特徴の掛川産のコシヒカリ。番組ではJA掛川市・良質米部会の平尾正康部会長が「消費者の皆さんに美味しいお米とってもらえるよう生産者が心を込めて作りました。香り・味・粘りをお楽しみください」とビデオメッセージで紹介しました。

令和3年度にご紹介した県産米は表のとおりです。1年間ご覧いただきありがとうございます。

令和3年度「しずおかごはんが食べたい!」で紹介した県産米

放送回	放送日	市町	米名称	米産地
#1	5月15日	富士市・富士宮市	きぬむすめ	県下全体(特A取得)
#2	6月19日	静岡市	ミルクークイーン	県下全体
#3	7月17日	沼津市	するがの極(きぬむすめ)	JAなんすん
#4	8月21日	御前崎市・牧之原市・吉田町	夢咲こしひかり	JA遠州夢咲
#5	9月18日	磐田市・袋井市	静岡そだちコシヒカリ	県下全体(JA遠州中央)
#6	10月16日	藤枝市・島田市	金芽米	JA大井川
#7	11月20日	御殿場市	このはなの恵み(コシヒカリ)	JA御殿場
#8	12月18日	浜松市	にこまる	県下全体(特A取得)
#9	1月15日	伊豆地域	伊豆の恵(コシヒカリ)	JA伊豆の国
#10	2月19日	焼津市	誉富士(酒米)	県下全体
#11	3月19日	掛川市・菊川市	掛川こしひかり	JA掛川市



▲生産者からのビデオメッセージを紹介しました

JAタウン しずおか「手しお屋」おすすめ商品のご紹介

今月のおすすめ商品をご紹介します!

JA遠州夢咲フルーツマト「待ってたトマト」



3,650円(送料・税込)

【商品内容】

規格: A品 Mサイズ14玉入またはSサイズ18玉入

【商品紹介】

「待ってたトマト」は極限まで水分・養分を控えて栽培した果実成分が凝縮されたフルーツマトです!生産者はJA遠州夢咲の石谷さんおひとり。なかなか手に入らない貴重なトマトをJAタウンで数量・期間限定で販売します。こういうトマトを「待ってた!」産地直送!自信を持ってお届けいたします。贈り物にもおすすめです。

5月末までの期間限定、数量限定での販売となりますので、お求めはお早めに。詳細は商品ページをご確認ください。



※販売時期や価格は変更する場合があります



しずおか手しお屋 🔍 検索

◀商品ページはこちら

担当:営業部 流通開発課

(TEL:054-284-9728)

組合員のみなさまへ

太陽の恵み みかん王国・静岡産温州みかん



**1 果実の香り
ぎゅっとみかん
濃縮還元果汁100%**
(190g×30本)
1缶に静岡県産温州みかん5個分の果汁を使用。無加糖で温州みかん本来の香りと甘さが際立つ、贅沢な味に仕上げました。

機能性表示食品
届出番号：E629



**2 みかん日和
濃縮還元果汁70%**
(190g×30本)
砂糖由来のイヌリン(食物繊維)を使用し、従来のみかん飲料より、酸味を抑えさらにおいしく飲みやすくなりました。

機能性表示食品
届出番号：E293



**3 本物果汁入り
スパークリング
みかん**
(280ml×24本)
静岡県産温州みかんの果汁を10%使用し、フレッシュ感の高い柑橋の香りと“キリッと”パンチのきいた炭酸飲料です。

(数量限定商品)

【機能性表示食品】
届出表示：本品にはGABAが含まれています。GABAには血圧が高めの方の血圧を下げる機能があることが報告されています。本品は血圧が気になる方に適しています。

静岡県JAの特産ドリンク
期間：2022.4月～2023.3月末

静岡県産茶葉を使用した
すっきり飲みやすい
緑茶飲料！



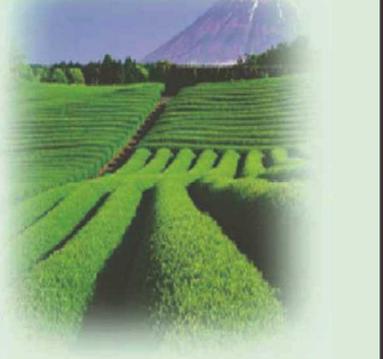
**4 静岡県産茶葉
100%使用
静岡茶ゆったり
490gボトル缶**
(ボトル缶)
(490g×24本)
静岡茶の香りが感じられ、すっきりした飲み心地が特長です。



**5 静岡茶ゆったり
290gボトル缶**
(ミニボトル缶)
(290g×24本)
県内産茶葉のみを厳選し、煎茶抹茶を加えた茶飲料です。

【環境に配慮したアルミボトル缶】
静岡茶ゆったりに使用するアルミボトル缶は、リサイクルする際のエネルギー消費が少なく環境にやさしい容器です。

【紫外線、酸素からの劣化を防ぎます】
アルミボトル缶は、紫外線を通しにくく、更に窒素を充填することで自身の劣化を極力抑え、本来のお茶の香りを長く楽しめます。



6 ちゃレンジ



静岡県産茶・みかん
(280g×24本)
静岡県産の温州みかん(果汁30%)と一番茶を使用し、みかんの甘さとお茶の渋みの絶妙なバランスを追求しました。

**7 りんごジュース
密閉絞り**



青森県産りんご
(195g×30本)
完熟青森県産りんご「ふじ」を主体としたストレート果汁100%ジュースです。製造工程で空気がふれないよう特殊製法で作りました。

8 紀州うめドリンク



紀州産うめ
(195g×30本)
紀州産南高梅を使用したほんのり甘く、やさしい風味の10%果汁梅ドリンクです。

9 ノももん



山梨県産もも
(190g×30本)
マイルドな桃のあまみを感じられ、さわやかでスッキリとした口あたりが人気です。濃縮還元果汁100%

10 北海道トマトジュース



機能性表示食品(無塩) 北海道産トマト
(160g×20本)
トマトの一大産地でもある北海道産トマトを100%使用した、食塩無添加のストレートジュースです。

11 はちみつレモン



(190g×30本)
昔懐かしい定番商品！はちみつのやさしい甘さとレモンの爽やかな酸味がマッチした変わらぬおいしさです。スポーツ後やお風呂上りにおすすめです。

12 ドトールコーヒー



NEW (微糖) ミルク入り
(260g×24本)
しっかりとしたコーヒーの中にやさしい甘みを感じる微糖タイプのコーヒーです。甘さとミルクがコーヒーの風味をさらに引き立てます。

13 ドトールコーヒー



NEW (無糖)
(260g×24本)
後味スッキリ、飲みやすさを追求した無糖ブラックコーヒー。口に広がる豊かな香りをお楽しみください。

JA静岡経済連

担当：くらし支援部 生活葬祭課 (TEL 054-284-9740)

